



2020年 10月 No.173

秋 の 号

発 行

日立市助川町5-14-8

TEL(23)2620 FAX(33)9150

ホームページ <http://www.taiyonoie.com>Eメール npo@taiyonoie.com

NPO法人 日立太陽の家

日立重症心身障害児(者)を守る会

日立太陽の家支える会



NPO法人日立太陽の家（日立市太陽の家）50年を記念して作られた歌がお披露目されました。
作詞者親子も参加し、素敵なメロディーとのコラボに耳を傾けたひとときでした。

50年、そしてこれからも

日立市太陽の家
日立市母子療育ホーム 管理者 菊地 祐二

今、世界中で新型コロナウイルスが蔓延しており、感染拡大のニュースを耳にしない日はありません。自粛ムードが漂い、行動を控えなければならぬことも多い中で、毎年参加していた夏祭りや運動会は中止となり、大学生の職場実習はリモートにより、直接施設に来て利用者さんと触れ合うことなく、パソコン上での実習に切り替わっています。今までは生活スタイルが一変し、戸惑いながらもその都度対応し、テレビや行政機関から得た感染予防情報を忠実に実行しながら、感染防止に努める毎日です。

この影響で、今年、NPO法人日立太陽の家が50周年を迎えるにあたり、準備していた記念式典やイベントの中止や延期を余儀なくされました。出来ればこれまでお世話になった沢山の皆様にお会いして、一人ひとりに感謝の言葉や気持ちを伝えたい、その願いが叶う日を心待ちにしています。

50周年記念事業として、その他に、記念誌を発行、日立市長はじめ多くの方々からお祝いのメッセージをいただきました。また、詩を募集し、入選した詩に職員が曲をつけ、9月に入選発表と歌「笑顔は太陽」をお披露目しました。地域の方々にも、温かい目で見守っていただいているお礼をしたくて、施設の見学会を企画。今はコロナ禍で延期していますが、ぜひ実現したいと思っています。

日立市鳩が丘障害者福祉施設及び日立太陽の家居宅介護事業所、グループホーム風の家、日立市障害者共同生活援助施設は、各々、必要なサービスを提供し、自立、リフレッシュ、入浴介助等の介護負担の軽減、訓練、療育、作業等、多くの役割を担っています。

新型コロナウイルスばかりでなく、ノロウイルスや季節性インフルエンザ等、普段から感染症には充分注意していますが、今回は今までとは違う新しい生活様式を、利用者さんとも意識、手洗いや消毒が浸透しています。皆、感染予防に必死で取り組んでいます。早くワクチンや治療薬ができることを期待し、収束して欲しいと願うばかりです。そして、これからもNPO法人日立太陽の家は、多くの仲間と共に、歩み続けていきたいと思っています。

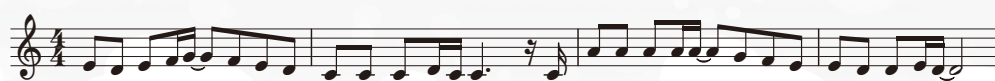
NPO法人日立太陽の家（日立市太陽の家） 開園 50 年記念の歌

皆様の温かいご支援を賜り、おかげさまでNPO法人日立太陽の家（日立市太陽の家）は開園50年を迎えることができました。利用者さんとそのご家族の思いに寄り添い過ごしてきた50年、記念すべき年にみんなの心に届く歌を残そうと詩の募集をしました。太陽（利用者さん）への思いを感じる詩が何編も集まり、その中の一編、その詩の世界感を表すようにメロディーが重なり忘れられない曲が生まれました。
「笑顔は太陽」の曲と共に作詞者をご紹介します。

笑顔は太陽

（日立市太陽の家 50周年記念曲）

作詞 菅野千登勢
作曲 加藤 晶



やさし ひ の ひ か り の な か で い く つ も い の ち が は ぐ く ま れ



お だ や かなー じ か ん が な が れ て る



りょうてをおおきくひろげれば いっだって おおぞらに と び た て る



むげんのゆめを おいかけて えが お いっ ぱ い たいようの こどもたち

「笑顔は太陽」 作詞：菅野 千登勢

優しい陽の光の中で いくつもの命が育まれ
穏やかな時間が流れている
両手を大きく広げれば いっだって大空に飛び立てる
無限の夢を追いかけて 笑顔いっぱい太陽の子どもたち

時には冷たい雨が降り 時には強い風も吹くけれど
みんな同じ時の流れの中
雨も風もいつかはやむと 信じて空を見上げれば
無限に広がる大空の 雲の切れ間に太陽のほほえみ

春は桜 夏には海を見下ろし
秋はもみじ 冬には雪が舞う
四季のめぐみに守られて 未来を照らす笑顔は太陽

「笑顔は太陽」の作詞者
菅野千登勢さんの紹介

日立市生まれの日立市育ち。結婚後、長男良樹さんが生後6ヶ月の時に知的障害があることが判明。以降は日立市障害児児童クラブや障害児者サッカーサークル「アドバンスクラブ」の立ち上げに参加し、子どもたちの活動の幅を広げるべく活動。

2014年より日立市ひまわり学園父母の会会長を務める。

2015年よりユニバーサルスポーツ卓球バレーの指導員資格や審判員資格を取得。茨城県卓球バレー協会の立ち上げにも精力的に参加し、昨年開催された茨城いきいきゆめ大会オープン競技「全国卓球バレー交流大会」でも運営の一助として活動した。



ピッピチャンネル



フェイスブック
ピッピコンサート



日立守る会だより

日立重症心身障害児（者）を守る会

新型コロナウイルス感染が

拡がる中での行事

日立重症心身障害児（者）を守る会会長 藤枝 利彰

会員の皆様いかがお過ごしですか。新型コロナウイルス感染症がいつ終わるのか、まだ先が見えない状態が続いております。

八月には日立市内でも九名のコロナウイルス感染者が発生しております。会員の皆様や子供達の感染には十分気を付け頑張ってください。現在、新型コロナウイルス感染症がいつ終わるか先が見えない中、世界各国でワクチンの開発中ですが、専門家の中には、ワクチンが多くのちに接種され、特効薬が出てくるまでは終わらないという人もおります。現在の状況を見ても、来年半ば過ぎまでは今の状態が続くように思われます。

新しい生活様式

新型コロナウイルスとの闘いは長期戦が予想されます。常日頃から感染症拡大防止に取り組むことが大切です。基本的対策として次のことを日常に取り入れましょう！

- ・人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- ・マスクの着用
- ・咳エチケットの徹底
- ・こまめの手洗い、手指消毒

- ・こまめの換気
 - ・「3密（密集・密接・密閉）」の回避
 - ・感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える
- 以上が新しい生活様式になっておりますので、会員の皆様も取り入れて頂ければと思います。

コロナ渦の中、日立守る会の以下の行事が中止となりました。

- ①総会（四月二十五日（土））
- ②第四十一回すべての障害（者）の幸せを守る親の大会（六月二十七日（土））
- ③日立市太陽の家奉仕作業と懇談会（六月十三日（土））
- ④助川学区夏祭り（七月）
- ⑤第五十四回ふれあい運動会（九月二十六日（土））

また、今後予定の行事等は役員会で状況を見ながら決定したいと思っております。

茨城県重症心身障害児（者）を守る会ですが、令和二年度総会はコロナ感染症で中止となり、総会資料を配布して承認を得た事になりましたが、今野啓子前会長の後を受け茨

城県重症心身障害児（者）を守る会会長に就任しました藤枝利彰です。会員の皆様の協力がなければ私一人では、到底行事等を行う事は出来ませんので、是非、皆様の協力をお願い申し上げます。

今野前会長のいままでの活動・功績を労い感謝致します。

茨城守る会の行事の以下が中止となりました。

- ①総会（五月三十日（土））
 - ②全国重症心身障害児（者）を守る会 第五十七回 全国大会（六月二十六日（土））
 - ③全国重症心身障害児（者）を守る会 第三十回 関東・甲信越ブロック大会（九月二十六日（土））
 - ④令和二年度「茨城県障害者福祉の集い」（十一月十二日（木））
 - ⑤本部に於ける支部長会議
- 茨城県守る会の理事会も自粛しております。

利教が自立生活を始めたのが平成二十二年十月、今年で十年が過ぎました。当初、自立生活は長く続かないだろうと思っておりましたが、皆様の協力を頂きながら今年で十年が過ぎ、楽しく自分の好きな事をしながら毎日を送っております。今はコロナウイルス感染症が恐ろしいとの事で、外出もしないでアパートでパソコンに向かって詩作りをしながら生活しております。

詩集「春雪トンネル2」の中から紹介したいと思います。

わたしの運命（さだめ）

この身体が 運命だから
笑っていられる
出会いも 成り立ってゆく
自由な身体なら
これらのことは めぐり逢えない
現実の波に のまれていたのだろうか
こんな身体だからこそ
だれでも 書けない文章ができる
運命は 乗り越えられることだけしか
それぞれに 与える
この身体がたとえ
びっくりともしなくても
生き方さえ 運命が変えてくれる
五体満足な身体だったら
多くの友と めぐり逢えたのだろうか
わたしの私の運命
人と人をつなぐもので ありたい
最後に会員の皆様もコロナウイルスには感染しない様、日頃から十分気を付け元気に過ごして下さい。

緊急事態宣言を受けて

大久保 澄江

初めての緊急事態宣言を受けて、皆様はどうお過ごしでしたか。
我が家では、4月に常陸太田市でコロナの感染者が出たと聞き、太陽の家はもちろん居宅介護支援（自宅での入浴サービス）、いばらき診療所のリハビリ、そして訪問介護の全てをストップし、外部との接触をたちました。ただ1つ、ドクター往診だけは、胃腸交換もあり月に一度だけお願いして、約2ヶ月間の自粛生活を始めました。
肺に疾患がある主人の部屋は、

隔離状態にしました。息子も私もなるべく出入りをしないようにしました。洗面所 キッチン、トイレのタオルは全てペーパータオルにし、部屋ごとに消毒液を置きました。買い物は1週間に一度にし、ネットでの買い物も利用しました。娘は太陽の家のお迎えがなくなり毎日つまらない様子でした。その為、テレビにYouTubeを繋ぎ、毎日志村けんのコントと大好きな歌を大画面で観られるようにしてあげました。声を出して笑って毎日大騒ぎの娘でした。私は、ミシンで毎日のようにマスクを作って友達や近所の方に配っていました。また、アマゾンの無料映画も何本も観て過ごしました。

一番困った事は娘のお風呂でした。1ヶ月は夢中で一人で何とか入っていました。体中にシップを貼り痛み止めの薬を飲み飲みでした。だんだん腰と膝が我慢できなくなり、お風呂の回数が減っていききました。いかに、居宅介護事業所の入浴サービスに頼っていたかがわかりました。約2ヶ月間の自粛生活が終わり、6月から太陽の家にまた登園する事が出来るようになりました。娘も迎えてくれると満面の笑顔です。

初めての経験で、皆様は不安になったり、過敏になったり、鬱になったりしていませんか。私の知り合いに今回の自粛生活の中、孤独死で亡くなった方がいます。まだ65歳でした。連絡が取れなくなつて家に行ってみたら亡くなっていたそうです。また、鬱になり自ら命をたつた人もいました。この方は50代でした。この時期なので密葬になり最後のお別れもできないのです。たか



自立生活の体験をする日立市障害者共同生活援助施設（チャレンジホーム）がスタートしました。次の生活の場への橋渡しになればと思っています。



手作りの魚で魚釣りゲームを楽しみました。チーム対抗で盛り上がりました。（太陽の家）



センター内にある喫茶コーナーに陶芸班で作ったコーヒーカップとお皿を納品しました。コーヒーの香りと共に素敵なひとときをお過ごしください。（しいの木学園）



笑顔での歩行訓練、一緒に歩を進めながらたくさんの愛と笑顔の溢れる場所を提供していきたいと思うひとときです。（母子療育ホーム）

娘が生活する上で出来ることが増えるよう長くリハビリを続け、先生・周りの方の意見を取り入れていきたいと思っています。

訪問リハビリを紹介していただき、五年になります。以前は病院で行っていましたが、体に力が入り緊張が強くなると、移動して車椅子に乗せるのも大変で、病院の先生に相談をして訪問リハビリを紹介していただきました。訪問リハビリは週二回お願いしています。体の力が抜けるよう手・足をほぐしたり、後ろから支えて歩く練習をしています。STの先生とは、トーキングエイドを使ってカードを見て文字を打つ練習をしています。先生とお話をするのが楽しく、将来トーキングエイドを使い意思疎通が出来るよう頑張っています。

篠原 順子

笑顔でリハビリ

まだまだコロナと向き合いながらの生活が続きますが、ポジティブに毎日楽しく過ごせたらと思うこの頃です。

他人事ではありません。皆さんも1人ではありません。何でもいんです、何かあったら誰かに連絡してください。話し相手がいるだけでも違います。また、余裕がある人は身近な人に時々声をかけをするのもいいかもしれません。

（前頁より）

お知らせ

◎二〇二〇年度

NPO法人日立太陽の家

利用者総数
男性 三百五十六名
女性 二百六名
百五十名

ご寄付ありがとうございました

○次の方から寄付を頂きました（敬称略）
六月～八月
黒澤弘明 小林好子 とく名
山縣千恵子 井関えり子
1円玉募金

○次の方から物品の寄贈がありました（敬称略） 六月～八月
椎名将光 小林好子
とく名 神保江利子
葛西紀子 横須賀裕治
井関えり子 小平佳代
森山唱子 有馬こう
鈴木敏行

編集後記

新しい生活様式、大切な人たちだから少し離れて、たくさん思いを込めましょう。（K記）

